

令和6年度 日南市立榎原小学校 学校運営協議会評価書

総合評価の矢印は、昨年度の評価との比較です。（\ / →）

【学校経営ビジョン】 小規模校の特性や学校の組織力、教職員一人一人の資質を生かすとともに、家庭や地域との連携強化を推進し、創意・工夫豊かな、地域に根ざした教育活動の充実を図る中で、学校の教育目標の具現化と地域に信頼される学校づくりに努める。 ～「夢・目標を大切にしながら児童一人一人に自立心を育むキャリア教育」の推進～									
4段階評価 4:達成(期待以上) 3:ほぼ達成(ほぼ期待どおり) 2:不十分(やや期待を下回る) 1:改善を要する(期待を下回る)									
評価項目	評価指標		自己評価		成果・課題及び改善策		総合評価	委員評価	学校運営協議会評価コメント(①～④は各評価指標に関するコメント、○は全般に関するコメント)
確かな学力の定着	①	・ 「授業の目標やねらい」「学習のめあて」「まとめ」の整合性のある授業実践及び習得の時間の充実を図り、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。(確実な振り返り)	児童	3.4	○成果… 授業においては、目標やねらい、めあてに対するまとめまで整合性のある授業実践に全職員で取り組んできた。ICT活用についても児童の使用を積極的に進め、タブレットを活用した授業活動や練習問題等多方面において取り組ませてきた結果、児童のICTスキルの高まりは顕著である。 □課題及び改善策… 学習者として学びに向かう姿勢の育成や学びの深まりを成立させるための授業づくりについて、県の方針である「ひなたの学び」を踏まえて今後職員の研修を深めていく。	3.2 ↘ (-0.1)	3.1	①タブレットを活用することが多くなり、家庭へも持ち帰り、宿題などの取り組みも進んでできている。 ①タブレットの使用の様子を見てみると、低学年でも上手に使いこなしているようです。 ①ICT活用はこれから先の学習以外にもとても大切だと思います。児童皆さんのICTスキルの高まりはとても良いと安心しました。 ②授業では、中学校の教員が来ることによって変化があっていると思う。 ②児童の評価に対して、保護者の評価が低いのが気になります。小中連携の強みを今後も生かして欲しい。 ②小中連携の充実は今後の学力向上に役立つことです。高校以降の学習にも良い影響を与えることだと思います。 ③読書の必要性を再認識。 ③読書指導に対する児童の評価が低い事が気になりました。先生の工夫をお願いしたい。 ④小規模校だから、個々の児童に目を向けることができると思います。	
			保護者	3.1					
			教師	3.2					
	②	・ 小中連携の充実を図り、9年間を見通した指導計画や学習指導法の工夫改善や家庭学習の充実に努めることにより、確かな学力の向上を図る。	児童	3.9	○成果… 中学校からの乗り入れ授業を積極的に行い、複式指導の解消に努めてきたまた、小・中学校で相互授業参観を実施し研究会を行ったり、体力を高める取組(体育の授業、運動会、持久走大会)を実施したりすることができた。 □課題及び改善策… 家庭学習の実践については、各家庭で十分ではないとの結果が出ていた。小中それぞれの学校の実態や発達段階に応じて、適切な家庭学習の在り方を検討していく。	3.4 ↗ (+0.2)			
			保護者	3.0					
			教師	3.2					
	③	・ 子どもの実態に即した読書指導と学校図書館の効果的な活用により、読書活動の充実を図る。(夢中になる読書)	児童	2.7	○成果… 旅する読書、家読、読み聞かせ活動を行いながら、読書活動の充実に努めてきた。「家読週間」を設定し、保護者の協力を得ながら親子読書にも取り組んだ。移動図書館たいよう号の利用も多い。 □課題及び改善策… 全学年を通じて読書量に個人差がある。図書司書の活用を図るなど、本に親しむ機会を掛けていくことで本を積極的に手に取る児童を育成していきたい。	3.2 ↗ (+0.1)			
			保護者	3.6					
			教師	3.2					
	④	・ 特別支援教育体制の整備・充実により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童への教育指導の充実に努める。	児童	3.9	○成果… 配慮を必要とする児童については、職員会等で情報を共有し、それぞれの児童に適した指導体制について全職員で協議してきた。また、適切な指導や合理的配慮を行うために保護者や関係機関とも連携を重ねてきた。 □課題及び改善策… 困り感を抱えている児童への合理的配慮を進めるために児童・保護者や担任を中心に関係機関との連携を確実にし、次年度に向けて支援体制を整えていきたい。	3.5 ↗ (+0.2)			
			保護者	3.3					
			教師	3.2					
豊かな心を育む教育の充実	①	・ 指導事項の共通理解と共同実践、家庭との緊密な連携により、基本的生活習慣の育成に努める。	児童	3.4	○成果…「榎原小よい子の1日」をもとに指導事項の共通理解、実践に努めてきた。また、PTA活動として文化学習委員会と連携した基本的生活習慣のチェックを継続的に行ってきた。 □課題及び改善策… 早寝早起き等の生活習慣へのマイナスの影響が大きいSNSやゲーム等による夜更かしなどについては、引き続き家庭への啓発やチェックの在り方を改善、実施していく。	3.2 ↗ (+0.2)	3.3	①生活習慣の改善は、個人差がありなかなか難しい。 ①学校と家庭の連携をより密にする必要性を感じます。 ①規則正しい生活が送れることは将来の生活にもとても大切だと思います。小学校からその基礎がしっかり身につくように家庭と学校が連携されていることはとても良いと思います。 ③学年関係なく仲良く過ごせている。 ②・③人権はナイーブな問題なので学校、保護者で見守るしかないのでは。 ④しかるより褒める方が児童もその気になって伸びると思いますが、時には叱ることも大切。 ④ほめほめ大作戦に大賛成。大いに推し進めてください。 ○評価全体が上がっているのはいいことです。	
			保護者	2.9					
			教師	3.2					
	②	・ 特別の教科道徳や学級活動(体験的な活動等)の充実により、豊かな感性を育むとともに、規範意識や自主性、社会性の向上を図る。	児童	3.7	○成果… 相手の気持ちをくみ取る対話力や思いやりの心を育成するために12月に全学級、人権・生命尊重等の授業実践を行い、人権に係る職員研修も実施した。 □課題及び改善策… 地域の人材や素材の発掘、活用を図り、自主性、社会性を高めながら豊かな感性を育む体験的な学習活動を推進していく。	3.3 ↗ (+0.3)			
			保護者	3.1					
			教師	3.2					
	③	・ 人権教育やコミュニケーション力の向上を推進し「いじめ防止基本方針」に沿った教育指導や教育活動の充実により、いじめの未然防止に努め、思いやりの心の育成を図る。	児童	3.7	○成果… 「いじめ防止基本方針」に沿い、教育相談を月1回実施した。また教育相談や全職員による声かけ、見守りによりいじめ不登校の未然防止早期発見に努めてきた。 □課題及び改善策… 本校の学校規模を生かし、全職員で全児童を見守る学校づくりに努めていく。	3.4 ↗ (+0.1)			
			保護者	3.3					
			教師	3.3					
	④	・ 褒める教育の推進に努め、児童会活動を含め教育活動全般において自主的・実践的な態度の育成を図る。	児童	3.6	○成果… 褒める教育推進のため、多様な観点から児童のよさを認めるために全職員による「ほめほめ大作戦」を実施した。 □課題及び改善策… 児童会活動を含めた教育活動全般において、児童が、自分たちでやれることは任せる機会を増やしていくことで自主的・実践的態度の育成を図りたい。	3.5 ↗ (+0.1)			
			保護者	3.3					
			教師	3.2					
心身の健康及び安全教育の充実	①	・ スクールスポーツプランに沿った確実な実践に努め、基礎体力や健康意識の向上を目指す。	児童	3.7	○成果… スクールスポーツプランに沿った共通実践事項に沿って、体育指導を行った。元気アップチャレンジカードや歯みがきカレンダーを定期的に活用して健康意識の向上を図った。 □課題及び改善策… 課題である握力については、体育の授業で共通の準備運動(わくわく運動)やなわとび月間を充実していくことで向上を図る	2.9 ↘ (-0.1)	3.2	①体力向上が課題です。 ①・②体力向上によって、非常避難訓練にも効果が表れると思います。健康維持にも大切なことなのでこれからも頑張ってください。 ②今般の地震や大雨の様に自然災害が多くなっているのを身を守ることを学ぶ機会が必要と考えます。 ②非常時訓練は非常に大事。引き続きよろしく願います。 ○心身の健康については、一人一人のケアが十分行き届いていると思う。	
			保護者	2.4					
			教師	2.7					
	②	・ 非常時避難訓練や日常の安全指導の充実を通して、防災・安全意識を高めるとともに、危険予測・回避能力の育成に努める。	児童	3.9	○成果… 風水害、地震・津波、不審者対応、火災の4回の非常時避難訓練とを実施することができた。訓練では、担任が居ない場合などを設定し避難を行わせるなど非常変災に対する実践力を高める訓練を行うことができた。 □課題及び改善策… どのような場面でも、自分の命は自分で守るという意識の基、適切な危機対応ができるように指導を行っていきたい。	3.6 ↗ (+0.1)			
			保護者	3.5					
			教師	3.5					
	③	・ 給食指導や食に関する指導の充実及び学年の発達段階に応じた「弁当の日」の実践により、食育の充実を図る。	児童	3.8	○成果… 弁当の日の取組や栄養教諭による栄養指導など、食育指導を継続的に行うことができた。 □課題及び改善策…朝食を摂っていない児童や偏食傾向の児童が一定数いるので養護教諭を中心に家庭への啓発等を図っていく。	3.5 ↗ (+0.1)			
			保護者	3.4					
			教師	3.2					
地域とつながる学校づくり及び自立性・社会性の育成	①	・ 地域学校協働本部事業の推進を図り、キャリア教育及び地域と連携した教育活動を充実させる。 ・ 自ら学ぶ意欲や学び方の育成を図り、新時代を生き抜く「4つの学ぶ力」を育てる日南教育を推進する。	児童	3.7	○成果… 地域と連携した交流活動や体験学習または発表会などについては学校だよりやブログを通して広く情報発信した。併せて参加案内を行うことで、参観される地域の方もいらった。 □課題及び改善策… 「4つの学ぶ力」を育てる教育活動となるよう、計画段階で何を、どう学ぶか精査していく。	3.4 ↘ (-0.1)	3.4	○地域との交流で大人の方とのコミュニケーションや接し方を学べている。 ○地域を知ることで人は伸びると思います。あいさつなど子どもたちはよくやっていると感じます。小規模特認校の特徴を生かした学校に期待します。 ○地域と連携した交流活動を通じて地元愛を深めることができると思います。学力、体力、地域の方々との交流、どれも大切なことだと思いますので、これからも協力連携を大切に頑張ってください。 ○地域の継続には、地域愛の育成が欠かせません。よろしく御指導をお願いします。	
			保護者	3.2					
			教師	3.2					
	②	・ 地域の人との交流学習を計画的に進め、地域のよさを感じ取らせ、郷土榎原を愛する児童の育成を図る。	児童	3.9	○成果… 地域学校協働活動推進員と協力し、地域と連携した交流活動や体験学習を数多く実施できた。 □課題及び改善策… 地域人材の高齢化の進展については、地域学校協働活動推進員の人脈や地域の情報を基に人材の開拓を行っていく。	3.5 ↗ (+0.3)			
			保護者	3.4					
			教師	3.2					